

## 「仙台の伝統的な野菜」 今年も販売できました。

平成24年12月1日と2日の両日、仙台農業協同組合農産物直売所「たなばたけ高砂店」において、仙台の伝統的な野菜を販売・試食するイベントを開催しました。

このイベントは、一般消費者からの「仙台の伝統的な野菜を購入したい」という要望に応じて開催したものです。生産者が丹精込めて栽培した野菜を生産者自ら販売するとともに、仙台曲がりねぎの焼きねぎや、仙台白菜の漬け物、仙台雪菜のおこわ、仙台雪菜のじゃこ飯、仙台曲がりねぎと仙台白菜のペーストの試食も行い、様々なバリエーションの食べ方を紹介しました。



「たなばたけ高砂店」での販売の様子



「たなばたけ高砂店」での販売の様子

消費者からは、「焼きねぎがとても甘くてビックリした」「長く食べたいので土ねぎで購入してみる」「店頭で並べられたレシピを見て仙台の伝統的な野菜の料理を試してみる」といった感想がありました。

津波被害後は仙台の伝統的な野菜の生産者も生産面積も大幅に減少し、店頭から姿を消しかけましたが、復興支援のシンボリックな野菜として話題を呼び、生産者の努力によって今回のイベントが開催できました。

仙台農業改良普及センターでは、今後も関係機関と連携し、伝統野菜の生産、販売を支援していきます。

## 被災後移転営農した亘理町小山地区で、2年目のいちご収穫が始まりました!

平成23年6月に亘理町、山元町の被災生産者8名が小山いちご生産組合を組織し、耕作放棄地再生利用緊急対策事業や東日本大震災農業生産対策交付金等を活用して、亘理町小山地区で営農を再開しました。

昨年は、新しい土地であったため、思いどおりの栽培管理ができず、被災前と比較して減収となりました。

今年は、被災前と同等以上の収量を目指し、新たに土壌分析に基づいた施肥やハダニ類防除の天敵農薬(※)の活用等に取り組んでいます。



2年目の収穫に励む生産者

組合員の花坂義男さんは、「被災当初はいちごの生産を再開できるだけで嬉しかったが、実際に代替地で営農してみると様々な課題があり、なかなか思いどおりの収量が得られず、悔しい思いをした。2年目の今年は、一つ一つ課題を解決して満足できる収量を絶対に得たい」との想いを話してくれました。後継者の博信さんは、「現在は、被災前の半分の規模で営農していますが、将来的には被災前と同等の規模での営農再開を目指したい。そのためには努力して様々な課題解決に取り組みたい」との意気込みを持って頑張っています。

亘理農業改良普及センターでは、引き続き被災生産者の方々の営農の安定化に向けた支援を継続します。

※ 天敵農薬：農作物に有害な病害虫を防除するため、天敵昆虫や微生物を使用する方法を「生物的防除法」と呼び、そのうち、天敵昆虫が害虫を直接補食したり、体内に寄生して致死させるものを「天敵農薬」と呼びます。

松島に殻付き焼きカキ食べ放題の「かき小屋」が今シーズンもオープンしました！  
～ 石巻産のカキで営業開始 ～

松島に殻付き焼きカキ食べ放題の「かき小屋」が、今シーズンも12月1日よりオープンしました。

例年、10月から2月まで営業し、多くの観光客でにぎわっていた「かき小屋」。

昨年は、震災により被災したものの、松島湾内のカキは生き残っていたことから、土日祝日に限り11月から2月まで営業することができました。

今シーズンは、例年どおり10月からの営業を予定していましたが、残暑の影響を受けて松島湾内のカキの収穫量が激減したため、急きょ中止せざるを得なくなりました。すでに予約されていた方々にもキャンセルの連絡をしていましたが、11月に入り、県内産（石巻）の殻付きカキの確保が可能となったため、12月1日より営業を開始できることになりました。

年末年始を除いて、平成25年3月3日（日）（予定）まで毎日営業しますので、ぜひ松島にお越しいただき、宮城のカキをご賞味ください。



「かき小屋」外観



焼いている様子。写真は以前のものです。

問 （社）松島観光協会

- ・予約の申し込み・お問い合わせ Tel : 022-354-2618
- ・営業内容の詳細 <http://www.matsushima-kanko.com/>

「奇跡の牛」の子牛が全日本ブラック&ホワイトショウに出場！

昨年3月の東日本大震災で宮城県農業高等学校の乳牛34頭が津波に流され、うち20頭が奇跡的に助かったニュースはまだ記憶に新しいところですが、11月23日に静岡県御殿場市で開催された「第8回全日本ブラック&ホワイトショウ(※1)」に、助かった母牛から生まれた「ミヤノウ シーバー サニー」号が出場しました。

全国規模の非常にレベルの高い乳牛共進会(※2)とあって、残念ながら出場26頭中最下位となってしまいましたが、ショウの主催である全国ホルスタイン改良協議会から特別賞をいただき、会場から大きな拍手を浴びました。

同校は、震災後にもかかわらず、宮城県改良同志会ホルスタイン共進会（6月：美里町）や東日本ディリーショー(※1)（10月：岩手県葛巻町）で上位入賞するなど、活躍はめざましいものがあり、今後一層の躍進が期待されます。



審査を受けるサニー号



引き手は農業園芸学科2年の須田さん

※1 ブラック&ホワイトショウ、ディリーショー：乳牛（ホルスタイン種）の雌牛による体型や資質などを比較、審査、表彰する共進会。

※2 共進会：互いに出品物の優劣を競い合い、審査、批評、表彰する品評会。



## 松島町の農地海岸堤防災害復旧工事起工式を開催しました！

11月27日に宮城県と松島町の主催で、松島町農地海岸堤防災害復旧工事起工式を開催しました。若生副知事をはじめ約50名の来賓、関係者の出席のもと、沿岸地域の1日も早い復旧と被災された地域の復興を祈念しました。併せて、安全祈願祭も執り行われ、工事の安全を祈願しました。

工事の概要としては、総延長2.5kmの農地海岸堤防を堤防高TP（※）+3.3mで復旧させるもので、平成27年度までの完成を予定しており、この堤防の復旧によって背後農地の営農が可能となります。



工事担当者として紹介される、他県からの応援職員の皆さん

また、この堤防の内側には、現在も不通となっているJR仙石線の線路があることから、平成27年度に予定されているJR仙石線の全線復旧に向けて、線路に沿った1キロ部分については、来年度中の完成を目指します。

なお、東日本大震災の災害復旧工事は全国からの応援を受けて実施されており、起工式当日には工事を担当している他県からの応援職員の紹介も行われました。

※ TP：Tokyo Peil（東京湾平均海面）

## 炭焼きで「森の名手・名人」に認定！ ～ 松島町根廻地区の阿部忠太郎さん ～

公益社団法人国土緑化推進機構が主催する本年度の「森の名手・名人（※）」に、松島町在住の阿部忠太郎さんが「加工部門の炭焼き」で認定されました。

阿部さんは、18歳から父の農業を受け継ぎながら炭焼きに取り組み、特に所有する竹林の有効利用の一環として竹炭の製造に力を注いできました。外国産が主流となり竹材の需要が減少傾向を示す中、竹炭が「土壌改良材、空気の浄化等に最適」という利点に目を付け、以後竹炭の製造技術の改良と商品化に向けて尽力されました。

また、松島町林業経営研究会主催による野外体験学習では、町外から訪れる小学生に対し竹炭に関する指導を行ってのほか、フィールドを提供しながら、竹林整備を通じた竹の有効利用などについての指導も行っています。



竹林を背にする阿部さん



自家製土窯

東日本大震災で自宅が被災しながらも、今なお精力的に竹炭製造や地域活動に取り組み、81歳という年齢を感じさせない凜とした阿部さんの姿には頭が下がるばかりです。

※ 森の名手・名人：（公社）国土緑化推進機構が「もりのくに・につぼん運動」のリーディングプロジェクトとして、平成14年度から実施している認定制度。きこり、炭焼き、木地師、船大工、椎茸等、森に関わる様々な技や知恵に支えられた人々の営みにおいて優れた技を極め、他の模範となる達人を認定するものです。

## □■ おすすめイベント情報

### 松島三ツ星冬ランチ

日時: 11月1日(木)～平成25年2月28日(木)

場所: 松島四季彩食料理コンテスト入賞各店舗

内容: 宮城・松島産のカキやアナゴなど、地元の豊かな食材を使った、松島・四季彩食料理コンテストの入賞作品を「松島三ツ星冬ランチ」として提供(2,500円)します。「ちょっと贅沢な」松島ならではの「昼食」を、どうぞ皆様でご堪能下さい。

10周年を記念し、抽選でホテルのペア宿泊券などが当たるスタンプラリーも実施しています。

問 四季彩食松島推進協議会((社)松島観光協会) Tel: 022-254-2618

<http://www.matsushima-kanko.com/event/detail.php?id=28>

### 悠久の詩都の灯り

日時: 11月23日(金)～12月31日(月)

場所: JR仙石線多賀城駅前広場

内容: JR仙石線多賀城駅前の広場にイルミネーションを点灯します。毎週金曜日には、多種多様な屋台が出店し、賑わいをみせます。

問 T・A・P 多賀城事務局 Tel: 090-2368-4318

### 森のダイニング「森の温泉冬ランチ～ごちそう日和～」

日時: 12月1日(土)～平成25年2月28日(木)

場所: 秋保温泉旅館組合参加旅館

内容: 秋保の自然から生まれる美味しさを、皆様にお届けしている森のダイニング。この度、秋保温泉各旅館の料理長たちの協力により、秋保米を使った「森の温泉冬ランチ～ごちそう日和～」を期間限定で販売します。開催期間中、ランチをご予約された方に限り各旅館日帰り入浴を特別料金でご案内しています。この機会に、秋保温泉郷へちょっと足をのばしてみたいはいかがでしょうか？

問 秋保温泉旅館組合 <http://akiuonsenkumiai.com/>

### 第23回えんころ節全国大会

日時: 平成25年1月20日(日) 午前9時開始

場所: 亘理町中央公民館

内容: 「えんころ節」は、新築祝いや結婚式など慶事には欠かすことのできない唄として、古く藩政時代から歌い継がれてきた、民謡王国・宮城の三大祝唄のひとつです。もともとは新造船の船おろしの祝唄として歌われ、七五調の特徴ある歌詞は48種類もあると伝えられています。県内外から集まった150人の歌い手が自慢ののどを披露します。

参加者募集につきましては、実行委員会事務局までお問い合わせください。入場無料。

問 えんころ節全国大会実行委員会(事務局: 亘理町観光協会)[亘理町商工観光課内] Tel: 0223-34-0513

<http://www.datenawatari.jp/index.php?id=8>

★ 読者の皆さまからのたくさんの明るい情報をお待ちしております！

お問い合わせ先) 宮城県仙台地方振興事務所  
地方振興部(担当: 斉藤、鶴飼)

(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/> (E-Mail) [sdsinbk2@pref.miyagi.jp](mailto:sdsinbk2@pref.miyagi.jp) (TEL) 022-275-9140